

函館市医療・介護連携推進協議会  
多職種連携研修作業部会 第14回会議

日時：令和3年9月8日（水）19：00～

場所：ウェブ開催

【次第】

1 開 会

2 議 事

○報告事項

- 1, 令和3年度 多職種連携研修計画 実施報告
- 2, センターホームページ「コラム」の掲載について
- 3, 研修情報の一元化と提供について

○協議事項

- 1, 第6回 函館市医療・介護連携多職種研修会について

3 その他

4 閉 会

【配付資料】

- 1 報告事項
- 2 協議事項
- 3 令和3年度 多職種連携研修計画実績および予定表
- 4 各関係団体窓口一覧に関する規定
- 5 ホームページ上で掲載した研修情報一覧（令和3年4月～令和3年8月）
- 6 第6回 函館市医療・介護連携多職種研修会（案）

**函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会**  
**第14回会議 出席者名簿**

※★…部会長および副部会長 ○…幹事

(敬称略)

分野	所属団体	氏名	勤務先等
医療	公益社団法人 函館市医師会	○幹事 近藤 純香	函館市医療・介護連携支援センター
	一般社団法人 函館歯科医師会	川村 曜補 ※欠席	カワムラ歯科クリニック
	一般社団法人 函館薬剤師会	★副部会長 水越 英通	(株)はこだて調剤薬局昭和店
	公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	渡邊 涉 ※欠席	医療法人徳洲会 共愛会病院
	道南在宅ケア研究会	川口 篤也 ※欠席	医療法人道南勤労者医療協会 函館稜北病院 副院長
	函館地域医療連携実務者協議会	船山 俊介	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 法人内・法人外連携推進担当課長
	一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部	阿部 綾子 ※欠席	医療法人社団 函館脳神経外科病院
	北海道柔道整復師会函館ブロック	山本 康文	山本整骨院
	函館鍼灸マッサージ師連絡協議会	益井 基	益井東洋治療院
介護	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	渡部 良仁	居宅介護支援事業所 アニー
	函館市地域包括支援センター連絡協議会	京谷 佳子 ※欠席	函館市地域包括支援センター ゆのかわ
	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	★部会長 寺田 昌弘	社会医療法人仁生会 西堀病院
	道南訪問看護ステーション連絡協議会	白川 直子	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 在宅療養支援室 訪問看護係
	道南地区老人福祉施設協議会	齋藤 禎史	特別養護老人ホーム シンフォニー

## ○報告事項

## 1. 令和3年度 多職種連携研修計画 実施報告（資料3）

## （1）相互理解の促進

## ①医療関係者向け研修会（動画公開）

（ア）テ ー マ：「介護サービスの概要と役割（医療と介護の連携）」

講 師： 医療法人社団函館脳神経外科指定居宅介護支援事業所

管理者・主任介護支援専門員 宮城 智美 様

公開期間：令和3年5月26日～6月18日

閲覧人数：580名（申告人数）

アンケート件数：135件

（イ）テ ー マ：「介護サービスについて

～居宅サービスと看護小規模サービスの違い～」

講 師： SOMPOケア函館昭和 居宅介護支援

管理者 加藤 由美 様

対 象 者：医療関係者（介護関係者も閲覧可能）

公 開：令和3年11月頃予定

## ②介護関係者向け研修会（動画公開）

テ ー マ：「症状から何が考えられるか？介護関係者に伝えたい事」

講 師：たかさわ糖尿病内科クリニック 院長 高澤 宏文 様

対 象 者：介護関係者（医療関係者も閲覧可能）

公 開：令和3年8～9月頃予定

## ③オープンカンファレンス

新型コロナウイルスの感染状況により開催未定

## ④研修会等コーディネート

- ・各関係団体窓口一覧の更新 8月17日更新内容掲載済み
- ・各関係団体窓口一覧の作成に関する規定について、標題の一部変更・挿入文一部追加（資料4）

## (2) 連携強化

### ①看取り

(ア) 第6回函館市医療・介護連携多職種研修会(案)

日 時：10月16日(土) 14:00~17:00

(イ) 施設看取りへの支援

・施設看取りの事例報告会

新型コロナウイルスの感染状況により開催未定

(ウ) 在宅看取りへの支援

・在宅看取りの事例報告会

新型コロナウイルスの感染状況により開催未定

### ②入退院支援

(ア) 『はこだて入退院支援連携ガイド』活用促進研修会

(退院支援分科会主催)

新型コロナウイルスの感染状況により開催未定

(イ) 『入退院支援連携強化研修会』

(情報共有ツール作業部会主催)

新型コロナウイルスの感染状況により開催未定

### ③急変時対応(急変時対応分科会実務者会議 主催)

『急変時対応研修会』 \*動画公開へ変更

#### 【座長】

函館中央病院 事務次長 総合医療支援センター副センター長  
亀谷 博志様

#### 【シンポジスト】

市立函館病院 医療連携担当課 退院支援係長 荒木 英世様  
高橋病院 医療福祉相談・地域連携室 室長 石井 義人様  
函館市地域包括支援センターたかおか 施設長 松野 陽様

公開期間：令和3年7月12日~8月7日

閲覧人数：621名(申告人数)

アンケート件数：133件

(3) 多職種連携の専門性の向上

函館市における多職種連携への理解の促進（出張講座の実施）

(4) 人材育成

センター主催研修会への見学参加（各医療・介護系の学校への案内）

2. センターホームページ「コラム」の掲載について

令和2年7月～認定看護師の役割について、2か月毎コラム掲載中

がん放射線療法看護認定看護師 5月 6日掲載

摂食・嚥下障害看護認定看護師 7月26日掲載

クリティカルケア認定看護師 9月 6日掲載予定

3. 研修情報一元化と提供について（資料5）

令和3年4月～令和3年8月掲載分

他団体主催・共催 5件

ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター主催・共催 1件

函館市医療・介護連携支援センター主催・共催 4件

○協議事項

1) 第6回 函館市医療・介護連携多職種研修会について（資料6・7）

(1) 開催方法

(2) グループワーク

内容

役割分担（ファシリテーター）

(3) 研修会中止の判断基準について

## 【令和3年度 多職種連携研修実績および予定表】

目的（テーマ）	内容	形式				定員	時期
		規模（会場）	形態	対象者	レベル		
（1）相互理解の促進	① 医療関係者向け研修 『介護サービスの概要と役割（医療と介護の連携）』 講師：医療法人社団函館脳神経外科指定居宅介護支援事業所 管理者・主任介護支援専門員 宮城 智美 様		動画にて講義	医療関係者 （介護関係者も閲覧可能）	初級～中級		5月26日～6月18日 まで公開（終了）
	『介護サービスについて ～居宅サービスと看護小規模サービスの違い～』 講師：SOMPOケア函館昭和 居宅介護支援 管理者 加藤 由美 様		動画にて講義	医療関係者 （介護関係者も閲覧可能）	初級～中級		11月頃予定
	② 介護関係者向け研修 『症状から何が考えられるか？介護関係者に伝えたい事』 講師：たかさわ糖尿病内科クリニック 院長 高澤 宏文 様		動画にて講義	介護関係者 （医療関係者も閲覧可能）	初級～中級		9月頃予定
	③ オープンカンファレンス	中規模	対話体験（事例報告）	医療・介護関係者	初級～上級	100名程度	コロナの状況をみて検討
	④ 研修会等コーディネート 各関係団体窓口一覧の内容変更の有無を確認 更新						8月17日更新済み
（2）連携強化	① 看取り （ア）第6回函館市医療・介護連携多職種研修会 『在宅・施設・病院それぞれの多職種によるACPの在り方』	大規模	シンポジウム・GW	医療・介護関係者	中級～上級	200名程度	10月16日（土）
	（イ）施設看取りへの支援 『施設等での看取りケアの事例報告』*各団体との共催	小規模	事例報告形式	介護関係者	中級～上級		コロナの状況をみて検討
	（ウ）在宅看取りへの支援 『在宅看取りの事例報告』	小規模	事例報告形式	介護関係者	中級～上級		コロナの状況をみて検討
	② 入退院支援 「はこだて入退院支援連携ガイド」活用促進 「はこだて医療・介護連携サマリー」活用促進 ※各団体・機関との共催、退院支援分科会・情報共有ツール作業部会との協働	小規模	事例検討・GW	実務者	中級～上級		コロナの状況をみて検討
	③ 急変時対応（急変時対応分科会実務者会議主催） 『急変時対応研修会』		パネルディスカッション 動画にて配信	医療・介護関係者	中級～上級		7月12日～8月7日 まで公開（終了）
（3）多職種連携の 専門性の向上	函館市における多職種連携への理解の促進 ※各団体・各機関との共催	小規模	座学講義 講師：センター職員	医療・介護関係者	初級～中級	30名程度	随時
（4）人材育成	センター主催研修会への見学参加 ※各医療・介護系の学校への案内		動画にて講義	医療・介護学生 （教員）	未経験者	数名	随時

## 【各関係団体窓口一覧に関する規定】

函館市医療・介護連携支援センターでは、更なる医療・介護連携体制の強化を目指し、専門職の職能団体同士が直に連携・共同できる環境づくりの一環として医療・介護に関係する団体等の窓口一覧を作成いたしました。

この各関係団体窓口一覧は、各関係団体へ配布させていただき、他、当センターホームページへの掲載もしております。

### 《活用目的》

- 各団体間での相互理解を目的にした意見交換会や研修会等の企画・運営の際の連絡調整のため。

※当センターとしては上記の目的での活用をお願いしておりますが、上記以外での活用については、各団体同士にてご確認いただきますようお願いいたします。

### 《掲載の条件》

以下の条件をすべて満たすこと

- 函館市内の医療・介護関係者が所属している団体等であること。
- 公益性があり、営利目的ではない団体等であること。
- 函館市医療・介護連携推進協議会に参加している団体からの推薦がある団体等であること。

### 《活用方法》

- 各団体長へお知らせしたパスワードにて、当センターホームページから「各関係団体窓口一覧」を活用し、各団体間で連絡調整をする。
  - \*パスワードは各団体長のための配布とし、各団体にて適正にパスワードの管理をすることとする。



## ホームページ上で掲載した研修情報一覧（令和3年4月～令和3年8月）

月	研修名称（団体名）	件数
4月		0件
5月	第168回 国立函館病院合同教育講座 『日本人COPD患者の特徴とグローバルデータの読み方』 (国立病院機構函館病院)	2件
	第64回 北海道医療ソーシャルワーク学会北海道医療ソーシャルワーカー協会 『パンデミック時代のソーシャルワーク』 (北海道医療ソーシャルワーカー協会)	
6月	令和3年度 第1回研修会 函館鍼灸マッサージ師連絡協議会 『鍼灸院・マッサージ院が医療機関に関わる上で大切なこと』 (函館鍼灸マッサージ師連絡協議会事務局)	1件
7月	市民公開講座 『お灸で健康づくり』～家庭でできるやさしいお灸～ 函館視力障害センター	1件
8月	第5回 国立函館病院循環器疾患地域連携推進フォーラム 『フォーラム立ち上げとこれまでの経緯～効果的に地域と協働するために』 『心不全の薬物治療の動向と利尿剤の使い方』 (国立病院機構函館病院)	1件
合 計		5件

（その他） ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター 主催・共催研修会 1件  
 函館市医療・介護連携支援センター 主催・共催研修会 4件

## 第6回 函館市医療・介護連携多職種研修会（案）

日 時：令和3年10月16日（土） 14：00～17：00

開催方法：ウェブ開催（Microsoft Teams）

＊聴講参加はなし

対 象 者：医療・介護関係者

参加人数：定員 200 名程（MAX250 名可能）

## 《参集方法》

- ① ② ③：例年通りの方法で、案内を送付する
  - ④ ⑤：聴講参加はなしとするので、今回は案内をしない
- ＊申込人数に達した場合は、×切日を早める事を案内文に記載

- ① 協議会参加団体（医師会、看護協会、在研、函医連、MSW協会、居宅連協、包括連協、訪リハ連協、訪看連協、老施協）  
→各団体を通さず、センターから各医療機関・介護保険事業所等の多職種に向けて案内文を配布し、所属する機関等から参加申し込みをする。
- ② 協議会参加団体（歯科医師会・薬剤師会・柔整・函鍼連）  
→各団体を通して、会員に向けて案内配布する。
- ③ その他（老健協、GH協会、ヘルパー連協、デイ連協、栄養士会、歯科衛生士会、介護福祉士会、理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会、社会福祉士会、精神保健福祉士協会、有サねっと）  
→所属する各医療機関・介護保険事業所等に配布している案内文から参加申し込みが可能である旨を各団体長から会員へ周知していただく。
- ④ 教育機関  
→聴講参加なしとするので、今回は案内しない
- ⑤ 行政  
→聴講参加なしとするので、今回は案内しない

参加費：無料

テーマ：在宅・施設・病院それぞれの多職種によるACPの在り方

目 的：ACP 実践に向けて、多職種の相互理解と ACP の理解を深める

- 目 標：・在宅・施設・病院での事例を通して、利用者（患者）の思いや ACP の必要性を知る事ができる
- ・研修にて、自職種を振り返り多職種と情報共有する事ができる
  - ・利用者（患者）の意思決定を支援するチームの一員として、明日からの働きを具体化できる

構 成：シンポジウム、グループワーク、発表（意見交換）

## ○シンポジウム

(座長)

医療法人道南勤労者医療協会函館稜北病院 副院長 総合診療科科長 川口 篤也先生

(シンポジスト)

訪問看護ステーションフレンズ 所長 保坂 明美様 (20分)

特別養護老人ホーム旭ヶ岡の家

生活相談員・介護支援専門員 南部 雄一様 (20分)

市立函館病院 緩和ケア科科長 山崎 裕 様 (20分)

\*最後に、座長より話をして頂く (10分)

## ○グループワーク

(50分間)

(Microsoft Teams) 手動作業でグループ分け 5~6人: 40グループ

ファシリテーター(多職種メンバー)は、グループ内をまとめる

その他のグループには、司会を1人選定、依頼する

(まとめまではせず、GW 進行をしてもらう)

内容(案): 1事例を通して、自分だったら何ができたかを考える

## ○意見交換会

(25分間)

座長からの促しで他者からの挙手がない場合、座長よりファシリテーターに発表してもらう

(総評)

(15分間)

・各シンポジストと座長から総評いただく

※意見交換会と総評の時間配分は座長にお任せする

## ○役割分担

開会挨拶 本間会長

閉会挨拶 恩村副会長

司会 水越副部長

補佐 寺田部長

・ファシリテーター(多職種メンバー)

・ウェブ担当(事務局:センター)

## ○研修会中止時

ウェブ開催にむけた感染対策基準新型コロナウイルス感染症にかかる研修会中止の判断基準(資料7)に沿って、開催・中止の判断を行う

中止と決定した場合: 講演内容シンポジウムの動画撮影・公開とする。